

令和7年度

「運営に関する計画」(案)

(様式1)

年度末総括

大阪市立大宮西小学校

令和8年3月

大阪市立大宮西小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標
現状と課題

本校は、1年生35名、2年生43（+2）名、3年生26（+1）名、4年生35名、5年生44名、6年生43名 計225名の中小規模の小学校である。クラス編成は2、5、6年が2クラス、他は1クラスの編成となっている。また、本務の教職員構成は26名（±3）であり、大阪市教育局から、学習面を支援するための加配を配置し、学校運営をおこなっている。

令和4年3月改定の市中期目標達成に向けた昨年度の目標は、「安心・安全な教育」では全般的にわずかながら未達成、「学力・体力」ではおおむね達成、「教育環境」では全体として上回って達成の状況だった。ただし、学年別、同一集団による経年変化等を分析すると改善をめざす必要がある。特に「教育環境」面では、一昨年度配置されて大幅な改善に寄与したワークライフバランス支援員、そしてスクールサポートスタッフ（SSS）も配置されておらず、厳しい状況であった。今年度はSSSの配置があり、学校事務作業環境面での一定の改善が見込まれる。中期目標達成のためには、もう一段ギアを上げて取り組むべき項目も多く、教職員が一層の共通認識に基づいた実践を進める必要がある。

(1) 児童数と学級数（特別支援学級を含む）

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
児童数	352	338	311	295	268	234	234	222	
学級数	16	16	16	16	16	13	15	13	

(2) 学校選択制実施状況

年度	通学区内 就学予定者 数A	他校区への転 出による減B	他校区からの 転入による増 C	実質入学者数 D =A-B+C	転出者の割合 E=B÷A	実質入学者率 F=D÷A
R5						
R6						
R7						
R8						

■大阪市が定める3つの最重要目標と9つの基本的な方向
1 【安全・安心な教育の推進】

基本的な方向 ① 安全・安心な教育環境の実現

基本的な方向 ② 豊かな心の育成

2 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

基本的な方向 ④ 誰一人取り残さない学力の向上

基本的な方向 ⑤ 健やかな体の育成

3 【学びを支える教育環境の充実】

基本的な方向 ⑥ 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進施策

基本的な方向 ⑦ 人材の確保・育成としなやかな組織づくり

基本的な方向 ⑧ 生涯学習の支援

基本的な方向 ⑨ 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進

■上記以外で本校が定める目標（学級経営、専科指導、特別支援教育、清掃活動、食育 など）

1 【安全・安心な教育の推進】

いじめ、不登校、虐待その他問題行動については、各種対策委員会等で即時情報共有をし、組織的な対応に努めている。また、近隣の小学校および中学校との連携も随時行っている。必要に応じて区役所子育て支援こども相談センターや警察、医療機関などの外部機関との連携した対応を行っている。

	R 4	R 5	R 6	R 7
いじめ件数				
不登校件数				
不登校率				

学校内には、学年別室や図書室、保健室、校長室など多様な児童の特性や抱えている背景、その時々児童の状況に応じて、児童が安心して過ごすことのできる場所を整備している。なお、不登校児童の在籍比率は、毎年増加傾向にある。一人ひとりの状況に応じた支援を行ったうえで改善していくことが望まれる。そのため、学校全体で、児童理解を柱とした、児童に寄り添った丁寧な対応を続けていくことが極めて重要である。

昨年度につづき、今年度のアンケート結果からも、大半の児童が、大宮西小学校に通うことを楽しみにし、友達や教員を信頼し、優しさ思いやりのある学校生活を送っている様子がうかがえる。今後も丁寧な対応を心掛け、安全で安心な学校づくりをすすめていきたい。

2 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

■大阪市経年調査結果 同一母集団 経年比較

現6年生	平均	国語	社会	算数	理科	英語
3年時						
4年時						
5年時						
6年時						

現5年生	平均	国語	社会	算数	理科	英語
3年時						
4年時						
5年時						

現4年生	平均	国語	社会	算数	理科	英語
3年時						
4年時						

現3年生	平均	国語	社会	算数	理科	英語
3年時						

令和7年度 大阪市学力経年調査の結果、4年生の全教科、5年生の英語は正答率が大阪市平均・標準化得点の100を超えた。

特に全学年とも平均が昨年度より上昇(4年生13.5ポイント 5年生4ポイント 6年生1.6ポイント)した。今年

度4月より、学校教育目標を新たに「全ての子どもの学びを保障し、「生きる力」を育む教育の実践～一人の子どももひとりにしない学び～」と決め、文科省が進める「主体的対話的で深い学びのある授業」の実践を行ってきたことが大きな要因と考えられる。具体的には①学びは繋がること ②わからなさの共有 ③ジャンプの課題 を行うように授業を進めた。教員においては、月1～2回のビデオ研修会で、子どもの学びを見とることで授業力を高め、年3回の全市公開授業で外部から評価をいただき、特に東京大学名誉教授佐藤学らスーパーバイザーの先生から温かい励ましの言葉を糧にしながら、学校全体の学び合う力を伸ばすことができたのではと考えている。

【参考】全国学力学習状況調査 4月実施

	国語	算数	理科
本校			
大阪府			
全国			

■全国体力・運動能力、運動習慣等調査

全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果については、男子は長座体前屈、反復横跳びで全国平均を上回った。一方女子は上体起こし、反復横跳び、20mシャトルラン、ソフトボール投げで、全国平均を上回った。運動が楽しいと感じている児童は多い。体育の授業や休み時間には、楽しく運動することができている。俊敏性や持久力を高めるために、なわとび週間やかけあし週間を継続して取り組むとともに、体育の授業の進め方についても改善を図っていく必要がある。

【取り組み】

文科省学習指導要領「主体的対話的で深い学び」の実現に向けて

- ① 年間3回の「全市公開授業」の実施 → 6/18、11/19、1/27 **実施**
- ② 月1～2回行う「ビデオ研修」 → **10回実施**
- ③ 月2～3枚発行する「学び合い通信」 → **28号まで発刊**
- ④ 夏休みに「全市公開研修会」を5回実施 → 国語、数学・算数、社会科、管理職、ボードゲームの**5回で実施** のべ約200名参加

3【学びを支える教育環境の充実】

時間外勤務上限基準の達成率

	令和7年度	令和6年度
基準1 45h/1カ月 未満	92%	65.2%
基準2 100h/1カ月 未満など	96%	91.3%

【取り組み】

個別最適化の学習、働き方改革の推進に向けて

- ① 校時の変更 3時10分 6限終了 → **実施**
- ② 完全2足制 → 清掃の簡略化 → **実施**
- ③ 主体的清掃の実施 → **実施**
- ④ フレキシブル勤務体制の推進 → **実施**

「働き方改革」は「まんじゅうの薄皮を1枚ずつ削るように、1分でも勤務時間が短くなるように進めていく」と聞いたことがある。上記の取り組みの成果もあり少しずつでも進めていき、業務量や勤務時間が大幅に軽減し改善できたと思われる。来年度も一層、教職員一人ひとりが安心して、やりがいをもって働くことができる職場環境の構築に努めていきたい。

中期目標

1 【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。

3年 87.2% 4年 96.6% 5年 92.9% 6年 100% →平均 94.2% 達成

- 令和7年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を1%以下とする。

不登校児童数 令和6年度5名 2% → 令和7年度3名 1.3%

- 令和7年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を60%以上にする。 **達成**

2 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的な回答児童の割合をどの学年も40%以上にする。

3年 87% 4年 76.7% 5年 69.1% 6年 82.9% →平均 78.9% 達成

- 令和7年度小学校学力経年調査における国語および算数の標準化得点を、100以上とする。 **未達成**

- 令和7年度小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を平均80%以上にする。

3年 78.9% 4年 83.3% 5年 76.2% 6年 82.9% →平均 80.3% 達成

- 令和7年度小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を70%以上にする。

3年 86.9% 4年 93.3% 5年 61.9% 6年 83% →平均 81.2% 達成

3 【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の71%以上にする。

→ 達成

- 令和7年度小学校学力経年調査における「コンピュータを使って写真や図を用いたスライドを作ることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を3年50%以上、4年70%以上、5年90%以上、6年100%とする。

3年 52.1% 4年 46.6% 5年 69.2% 6年 70.7% →平均 59.7%

- ・「ゆとりの日」（17 時 30 分閉庁）を週に 1 回設定・実施し、学校だより等で発信するとともに順守する。
→ **達成**

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

1 【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を **88%**以上にする。(令和6年度86.6%)

3年 87.2% 4年 96.6% 5年 92.9% 6年 100% →平均 94.2% 達成

- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。(令和6年度2.1%)

不登校児童数 令和6年度5名 2% → 令和7年度3名 1.3% 達成

- ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童(5人)の改善の割合を 50%以上とする。達成

- ・年度末の児童アンケート「学級や学校のきまりを守っていますか」の項目について、肯定回答の割合を 85%以上にする。(令和6年度84.6%)

3年 82.6% 4年 90% 5年 95.3% 6年 85.4% →平均 88.3%

- ・年度末の児童アンケート「自分には、よいところがあると思いますか。」の項目について、肯定回答の割合を 83%以上とする。(令和6年度80.7%)

3年 82.6% 4年 90% 5年 95.3% 6年 85.4% →平均 88.3%

- ・年度末の児童アンケート「学校へ行くのが楽しい」の項目についての肯定回答の割合と、保護者向けの対応項目でどちらも 93%以上とする。(令和6年度91.8%)

3年 73.9% 4年 90% 5年 72.4% 6年 92.7% →平均 82.3%

2 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を **どの学年も 40%以上**にする。(令和6年度30.8%)

3年 87% 4年 76.7% 5年 69.1% 6年 82.9% →平均 78.9% 達成

- ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.3 ポイント向上させる。達成

- ・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を **87%以上**する。(令和6年度85.9%)

3年 91.3% 4年 93.3% 5年 80.9% 6年 85.3% →平均 87.7% 達成

- ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童

の割合を**どの学年も80%以上**とする。(令和6年度79.3%)

3年 78.9% 4年 83.3% 5年 76.2% 6年 82.9% →平均 80.3% 達成

- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的な回答する児童の割合を**75%以上**にする。(令和6年度73.1%)

3年 86.9% 4年 93.3% 5年 61.9% 6年 83% →平均 81.2% 達成

- ・小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度(令和6年度**3年 19.5%、4年 21.1%、5年 7.7%**)より1ポイント減少させる。

(3年 42.1%) 4年 10.7% 5年 9.8% 6年 27% 4, 5年達成

- ・小学校学力経年調査における「学校の授業などで、自分の考えを文章に書くことは難しいと思いますか」に対して、否定的回答をする児童の割合を**52%以上**にする。(令和6年度50.5%)

3年 47.9% 4年 63.4% 5年 36.1% 6年 53.4% →平均 50.2%

3 【学びを支える教育環境の充実】

- ・運動会当日など ICT 活用が適さない日を除く授業日において、**8割以上**が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の**71%以上**にする。 **達成**

- ・小学校学力経年調査における「コンピュータを使って写真や図を用いたスライドを作ることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を3年**50%**以上、4年**70%**以上、5年**90%**以上、6年**95%**とする。(令和6年度平均93.1%)

3年 52.1% 4年 46.6% 5年 69.2% 6年 70.7% →平均 59.7%

- ・「ゆとりの日」（17時30分閉庁）を週に1回設定・実施し、学校だより等で発信するとともに順守する。
達成

3 本年度の自己評価結果の総括

1 【安全・安心な教育の推進】

おおむね達成できた。

2 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学力面は、かなり達成できた。体力面は課題が残る。

3 【学びを支える教育環境の充実】

教職員の勤務時間については、かなり改善ができた。